

決定！第1回 大賞 なにわ大賞



今年度的一大イベント「なにわ大賞」
大賞はあんがいおまるさんに

なにわ名物 開発研究会 NEWS

<第1号>

1998年7月28日発行

発行
なにわ名物開発研究会

〒542-0086

大阪市中央区西心斎橋2-18-6

アベニュー心斎橋502号

TEL・FAX 06-213-5554

大阪をこよなく愛し、大阪をよりよい町にするため地道な活動を続けておられる人達を表彰しようと、開設された「なにわ大賞」。旗揚げから大賞決定まで約三カ月と、短い準備期間にもかかわらず、多くの応募が集まり、ユニークな活動の多さ、大阪人の熱意に関係者は大きな感動を受けた。

七月十一日にワッハ上方六階会議室で行われた最終選考会には、選考委員長の難波利三氏をはじめ、旭堂小南陵氏、熊谷真菜さん、そして運営委員長の森一貫氏ら大阪通を自負する強力な選考員陣が勢揃い。今回の選考基準は①大阪的な活動であること。②継続して行われていること。③社会的な活動があること。④リーダー性があること。応募された活動は多種多様で、分野も芸術や音楽、町興しと多岐にわたり、選考は困難を極めたが、真剣な協議の中にも笑いが溢れる選考会となり、栄えある第一回「なにわ大賞」には、あんがいおまるさんが選ばれた。あんがいおまるさんは、出版社JDCの社長で、画家、書家

とマルチに才能を発揮。その幅広い活動が評価されての受賞となった。



大賞を受賞された
あんがいおまるさん

また、当初「大賞」と「準大賞」のみの設定だったが、どの活動も甲乙つけがたく、選考員の先生方も非常に苦労した結果、急きよ「特別賞」を設け、多くの活動を表彰することとなった。準大賞には、非常に精巧な船を作り続けて五〇年になる松本國太郎さんと「堺火縄銃保存会」の個人と一団体が選出された。

「サブタイトルが大阪一のイチビリというわりには、一回目だからか予想以上に真面目なものが多かった」と、選考委員長の難波利三先生。真面目な活動の中、内容は真面目だが「天保山山岳会」なるユニークな名称の団体もあり、これには選考委員一同大爆笑。

あんがいおまるさんの大賞受賞で無事幕を下ろした「なにわ大賞」。産声を上げたばかりのこの賞が、大阪で活動を続ける全ての人達から愛される賞になるように、と運営委員一同は第二回の開催に向けて動き出した。

第一回なにわ大賞受賞者

大賞 あんがいおまる

準大賞 「堺火縄銃保存会」

松本國太郎

特別賞 「和泉木綿の会」「河内ワ

イン館」「天保山山岳会」「はしけ委員会」「和太鼓 雅」

選評

今回は初めてだからか、予想していたよりも真面目なものが多かったように思います。皆さん非常に熱心で、大賞を選ぶには苦労しましたが、その中でも大賞のあんがいおまるさんは、出版社の社長でありながら、画家として、書家として、自らも大いに活躍する一方、演劇、音楽など多方面にわたる文化活動に積極的に取り組み、若い人達の育成にも情熱的な力を傾注している。なにわ文化の根っこを育て、支える幅広い活動が高く評価されました。



選考委員長
難波利三氏

研究会 総会報告

今年度の事業計画決定 記念講演は大谷晃一氏「大阪学のすすめ」

五月二十二日
(金)、メトロThe
21において「平成十
年度総会」が開催さ
れた。「九年度事業

報告・会計報告」に続き「十年度事業
事業計画案・収支案」が満場一致で
採決。引き続き行われた、帝塚山学
院大学学長の大谷晃一先生による記
念講演「大阪学のすすめ」では、
「大阪は歴史的にみてもホンネで生
きる商人の町。対して、東京はタテ
マエで生きる武士の町」と述べ、歴
史を溯ってユーモアたっぷりに大阪
らしさを検証した。

「阪神が優勝した試合は、ちょう
どヤクルト戦だった。その時、ヤク
ルトファンは「阪神優勝おめでとう。
来年こそはスワローズ」と垂れ幕を
飾った。これが典型的な東京の「イ

キ」って奴です。大阪はこんなこと
ありません。人のことなど喜ばん」
と大谷さん。辛口な大阪検証に会場
は大いに湧いた。

会場を最上階のラウンジに移して
の懇親パーティーには、大阪観光協
会の竹内専務理事、大阪商工会議所
の松本プロジェクト推進部長の祝
辞、乾杯により終始和やかな雰囲気
に包まれた。吉里幹事によるユーモ
ア溢れる閉宴の挨拶まで、約五十人
の参加者による談笑の花が途絶える
ことがな
く、今年
一年の研
究会パワ
ー全開を
予想させ
るひとと
きだった。



参加二度目の「中之島まつり」 皆さんの協力で大成功

毎度五十万人という来場者でにぎ
わう「中之島まつり」。同会の参加
は二回目。台風接近の天気予報に不
安を覚えながら、前日のテント張り
に力が入る。そんな心意気が天に通
じたのか、初日の雨も午後にはあが
り、商品の売れ行きも好調、最終日
まで盛り上がりを見せた。

一方、中之島公会堂内の「大正口
マン」展示場への来場者も日を重ね
るごとに増え、満場の場面も。場内
にはバー(バーテンダー協会協力)
が設置され、ワインに舌つつみする
光景も見られた。

本年度当会では、五月三、四、五
日、中央公会堂三階中集會室におい
て、第二十七回中之島まつり特別企
画「大阪中之島中央公会堂永久保存
会改修記念「赤レンガの館」」大正
ロマン時代から大阪未来文化へ」
に参加し、「和多田勝イラスト展」
「懐かしきミゼットの風景写真展」
を行いました。展示依頼等に奔走し
たジェイ・アールさん、会員でない
にもかかわらず大勢でお手伝いいた
だいたスカイアートさん達のおかげ
で、かつてないほどの入場者数を数
え大好評でした。

「懐かしきミゼットの風景写真展」
に伴い、中央公会堂正面玄関におい
て、本物のミゼットを展示し、また、

シルエットさんがミゼット
をバックに記念写真を撮
り、Tシャツ、バッチにプリ
ントして販売いたしました。

テントブースにおいては、たこや
きキャンデーを始め、なにわ名物
を代表する商品はもちろんのこと、
葉文館出版さんによる「この本、百
万部売れたら百万人にたこ焼きおご
つたる、どやあ!」と意気込み激し
い「大阪弁川柳」の販売、また、中
島製菓さんによる、ご家族総出での
あられ実演販売等、こちらも大盛況
でした。
(南海包装(株)宮内記)



部会報告

総務部

●平成十年度月例会予定

八月二十一日(金) 午後七時 ビア
パーティー 会場OCAT
九月十七日(木) 午後七時 会場
ハイアットトリージェンシー・オオサ
カ 講演「外国人からみた大阪」/
講師・デイビット・テイラー氏(マ
ーケティングアナリスト)
十月十四日(水) 午後七時 会場O
CAT 講師未定

会員交流部

●ただいま部員大募集中

皆さんこんにちは、会員交流部部長を仰せつかっております松本です。私たちの会員交流部は、より一層の会員相互の交流をサポートする目的として、今年度より新設されました。基本的には、よりよく会員さんの仕事内容を知り合える機会を作る事と我々が会員さんにメリットが有ると思う見学や講演。また、例会以外での、会員同士が語り合える場作りも提供したく存じます。ただいま部員大募集中です。お気軽に声をかけて下さい。

広報部

●おもろいネタ待ってます

・なにわ名物研究会にゆうす(会内向)三回発刊予定。・広報紙二回発

刊予定。トピックス等ございましたら、ご連絡お待ちしております。

イベントチーム

●フェアやります

JR新大阪駅「ワッハ上方・なにわ名物賑わいフェア」出店募集!
八月二十四日(月) 三十日(日)、
新大阪駅三階動輪前広場に「なにわ名物開発考社」のぼりが林立します。詳細まもなく発表。
(担当、SEN企画・橋本、楽軒本店・向井)

まちづくりチーム

●楽しくイチビリませんか

皆さんの地域や、グループで取り組まれている「地域活動」などに参加、お手伝いをします。昨年度は、中之島まつり、戎橋筋の夏まつりや活性化セミナー、大阪ギフトショーにおけるまちづくりセミナー、住吉文化フォーラムなどに参加しました。今年も「中之島まつり」への参加を始め、八月八日(土)には「えびすばし夏まつり」への参加者を募集中!十万人の人数の中、楽しくイチビリませんか?また、皆さんの関わっておられる事業のご案内をお待ちしています。当チームよりPRします。

マーケティングチーム

●通販はじめます

インターネットホームページのリニューアルアップ&リニューアル実施!(メールでのなにわ大賞の応募

やなにわ名物白書の問い合わせもありました。)

なにわ白書をいよいよ七月二十八日(なにわの日)に発行します。なにわの意識調査の集計結果を含めた貴重なデータと「なにわのキーマン」のインタビューを掲載。詳細別項参照。八月よりインターネットを活用したなにわ名物の通信販売システムプロジェクトを始動します。

商品開発チーム

●「言い出しっぺ」さん集合

いろんな人が集まって、ウダウダ話をしながら、いろんな商品を作りましょう!このチームでは、「こんな商品作ろうや」「こんなデザインあるんやけど・・・」と言うような、会員メンバーの「言い出しっぺ」さんを待っています。その「言い出しっ

オリジナルデータを併載した「なにわ名物白書」いよいよ刊行!

当研究会が出版したなみはや国体等三つのイベント開催時に来場者に対して行ったアンケートを取りまとめた「なにわ名物白書」をいよいよ七月二十八日(なにわの日)に刊行します。「なにわの言葉から何を連想するか?」「なにわの名物といえ

ば?」「なにわの有名な場所は?」などの質問に対する回答を年代別、近畿圏内、圏外別に集計。この種の本格的なアンケートとしては今までに類をみない初公開といえる貴重なデータです。また大学教授などの専

大阪学研究チーム

●第五回なにわ学実践講座

第五回なにわ学実践講座を八月二十七日午後六時から行います。場所はホテルメトロThe 21二階バンケットルーム。講師に大阪大学大学院工学研究科助教授で建築家・工学博士の加藤晃規氏を迎え「なにわ(大阪)の未来を考える」についてお話しして頂きます。会費はセミナーのみ一五〇〇円、セミナー&パーティー一四五〇〇円。
申し込みは(06)1123155504 岸本まで



6月報告 例会報告

各プロジェクト順調に進行中 竹内氏「東南アジアへ大阪をアピール」

六月十六日(火)にホテルメトロポリタで行われた六月の月例会は、新年度の各部・各チームの活動方針の報告でスタートした。「なにわ大賞」選考や「なにわ白書」の出版をはじめ、各担当部署が積極的にイベントを催し、研究会の発展のために活発な活動が予定されている。

第二部の講演会では大阪観光協会の竹内靖夫専務理事が「大阪の観光あれこれ」と題し、観光都市・大阪となるためのノウハウを披露した。「今年のゴールデンウィークには全国で約六二〇〇万人が行楽地に行きましたが、対前年比で見ると五パーセントダウンです。長引く不況で余暇の過ごし方にも変化が出ています。昔は打つ・買う・飲む、のいわゆる男性型・金銭消費型でしたが、近年は時間の消費型・女性型に移行しつつあります。ですから、これからは女性の意見を反映させなければいけない時代です。

観光協会としては、現在東南アジアを中心に大阪をPRしています。向こうではテーマパーク、ショッピング、温泉、そして雪が人気の要素

なんです。大阪ではフェスティバルゲート、花ポトスヌーピータウンが人気があります。大阪で雪というのは期待できませんが、大阪市の十パーセントは川なので、雪を水にすり替えてPRしていきたいと思っています」と語った。大阪を愛し、大阪の発展を願う会員にとっては有意義な講演だった。

自由参加形式で行われた二次会にも大勢の会員が参加し、和気あいあいとした雰囲気の中、会員各自の自由な交流の場として好評を博している。



会員紹介 株式会社ムーブ

当社は設立二年余の新しい会社です。もともとアパレル関連の商品企画とプロモーション業務を主体に始めたのですが、たまたま仕事の関連で出会ったファッションデザイナーが製作していた変な「招き猫」(ジューリーキヤット)に出会い、その製造と販売を手がけることとなりました。

何も解らず雑貨や物産のルートに商品を紹介しています。その過程で本会の代表と出会い、入会をさせて頂く事となりました。今後は本業であるファッション関連の情報を活用しながら、この世界でも何か面白い事が出来ればと、まず勉強させて頂ければと願っております。また会のお役に立てればと...



今年度新入会員紹介

- ロマン(株) ハンカチ、タオル、袋物製造
- ムーブ(株) 観光みやげ物の他の企画及び販売
- 葉文館出版(株) 出版業
- オール関西(株) 出版業
- エルビギン(株) 文具、雑貨卸業
- 日野薬品(株) 医薬品、健康食品の販売

編集後記

学級新聞も作った事のない私ですが、山より大きな獅子は出ないという気持ちで部長を引き受け、皆様の多大なる御協力を頂き第一号を発刊することができました。今後も頑張ります。(広報部長 五十殿)

会員の皆さんの商品を展示。会員交流のサロンとして、お気軽にご利用下さい。
なにわ名物開発研究会

〒542-0086
大阪市中央区西心斎橋2-18-6
アベニュー心斎橋502号
TEL・FAX 06-213-5554
または代表幹事 野杵育郎
TEL06-211-0685
FAX06-211-0686
麟せのや

